

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 - 5842 - 6031 2020年  
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 3月30日発行

## 今できることは、原爆被害展示組写真の贈呈キャンペーン！

「広島・長崎原爆被害展示組写真」A3サイズ（日英キャプションあり）

【内容】広島・長崎被爆写真13枚、マールシャル、セミパラチンスク核実験被害写真2枚、世界の核兵器の状況、核兵器禁止条約と「ヒバクシャ国際署名」、ローマ教皇メッセージ各1枚。

頒価1組2000円（送料込）。※日本原水協から海外贈呈の場合、送料募金として部数に関わらず一律別途1000円（送り先は指定できません）。

組写真贈呈募金は1口1000円です（何口でも可）。郵便振替口座（00110-9-1780原水爆禁止日本協議会）に「組写真贈呈募金」と明記して、お振込み下さい。

※郵便振替の「控え」を領収書に代えさせていただきます。

問合せは日本原水協（大越）まで。

新型コロナウイルス感染拡大、3・1ビキニデー、世界大会NY中止の中でもできることは、広島・長崎原爆被害展示組写真の贈呈キャンペーンのとりくみということで、山梨県原水協の菅沢三郎事務局長からのレポートです。

山梨県原水協は「広島・長崎原爆被害展示組写真を海外に贈り、『ヒバクシャ国際署名』を広げる力にしてもらおう」ととりくんでいます。3月13日の原水爆禁止世界大会NYの中止を受けて、3月15日から始めたものです。

3・1ビキニデーや世界大会NYに参加する予定だった方や、代表を送り出そうと頑張った団体に呼びかけました。参加予定の皆さんは、「何かやれることはないかと思っていた」と3セット、5セットと積極的に応じてくれました。「海外の平和団体に送るなら」と贈呈募金は集まってきました。自らも1セット購入して地元で活用したいと3人の方から申し出がありました。これらの募金は代表派遣のために各団体が集めた中の一部を拠出してくださったものです。各団体に集められた募金は「一年先の世界大会NYまで取っておく」「夏の世界大会代表派遣に回そうか」と検討もされています。

香川県原水協の福井利夫事務局長からは、3月28日に開いた第4回世界大会NY代表団会議で組写真8部の注文があったこと。欠席者には、また贈呈について勧めること。民医連からも注文があることなどの連絡が届いています。

## 世界の核兵器数と非核兵器地帯

